

# 広報ひがしの

No168

令和2年

2020.8.1

人口1666人

(男)841人

(女)825人

世帯数

626世帯

(R2.7.1現在)



おかえりなさい。待ってたよ！

令和2年5月26日



登校初日(5月25日)  
先生がお出迎え





## 地域の話

こども園で真っ白な花が咲きました ヒトツバタゴ

ヒトツバタゴは愛

知県犬山市、瑞浪市、恵那市、中津川市の自生地では国の天然記念物に指定されています。

ヒトツバタゴとは

奇妙な名前ですが、「一つ葉のタゴ」という意味です。タゴとは、ヒトツバタゴとよく似た樹木のトリネコのことです。見慣れない木なので、「ナンジャモンジャ」とも呼ばれます。あの有名な天下の副將軍水戸黄門が、將軍に『この木はなんじゃ』と問われたが答えに困り、とっさに『もんじゃです』と返答したという説もあります。東野では、浜井場のナンジャモンジャが有名です。

今年は、思うようには外出できませんでしたが、こども園も5月中は休園のため、せっかくの美しい姿も子どもたちの目に触れないまま春が過ぎてしまいました。

来年こそ真っ白な美しいヒトツバタゴの花を見て心から楽しんでほしいと願わずにはいられません。



明知鉄道沿いに咲く（浜井場）

ひっそりと咲く（こども園）



おいしい焼き芋が食べられるかな？

こども園がまだ自由登園中の5月27日（水）、壮健東雲連合会の皆さんがこども園でサツマイモの苗植

えを教えて下さいました。苗をまっすぐ植えると大きな芋、横に植えるとたくさん芋が収穫できることを勉強しました。

みどり組さんは毎年行っているので上手に植えま



しっかり覚えていました。

今回は、全員がそろわなかったのが残念でしたが、正式な登園となった6月には今回体験できなかった園児も苗を植えることができました。秋には安心して芋掘りや焼き芋大会ができるといいですね。



スズメちゃんがいっぱい

6月下旬、小学校1年生が竹を使って、スズメの置物を作りました。

地域の講師の丸山さんが用意してくださった竹製のパーツを組み立て、接着剤で頭と竹皮の翼を取り付けました。上向きか下向きか悩みながら頭の位置を決めたり、翼の位置を考えたりしました。

担任の先生と丸山さんに手伝ってもらいながら、自慢のスズメを完成させました。



上向きにしようかな？  
下向きがいいかなあ？  
羽根はどっちを向くと  
かっこいいかなあ？

## 今年も実施します 東野ふるさと写真展

- 受付期間  
令和2年10月10日（土）まで
- 受付場所 東野コミセン
- テーマ
  - ・東野の魅力・風景、お祭り、行事、文化財、自然など
  - ・東野のすてきな人たち
- 【応募規定】
  - ・作品は令和元年11月以降に東野地内で撮影したもの
  - ・応募に制限はありませんが、入賞は1人1作品
- 【応募規格】
  - ・サイズは、A4サイズとします。

\* 詳細は、コミセンまでお問い合わせください ☎ 26-2555



## 地域の話題

### 東野生産森林組合 第49回通常総会開催

6月6日(土) 午後7時30分から生産森林組合の総会が開催されました。本来5月初旬に行っていた総会ですが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発表されたため、1か月遅れで開催されました。

今回は役員改選のため、組合員の20%以上の実出席者が必要でした。そのため、コミセン大会議室を会場とし、隣同士の間隔をあげ、全員マスクという対応で開催されました。



河村和直会長は、事業や行事ができたことに対する謝意と3年間の事業の成果について挨拶しました。

生産森林組合の役員の皆様は、東野の森林の整備や育成、保全を図るために奔走されました。3年間のご尽力、お疲れさまでした。

### 東野生産森林組合、新役員が決定

総会終了後、新役員が集まり、互選により役員が次のように決定しました。

○組合長・三宅一彰

○副組合長・伊藤和平・鈴木義文

○理事

光岡秀樹・渡辺英勝・三浦貞好

土方正和・千藤秀幸・西尾克彦

鈴木英明

○監事

千藤智秀・林基憲・渡辺昭人

健全な山林の育成は、土砂災害を防ぐ観点からも重要です。

令和2年6月からの3年間、よろしくをお願いします。

### テレビ版市民講座の収録

アマックスCOMの「えなッコチャンネル」で放映された市民講座の収録が6月6日に行われました。新型コロナウイルスの感染症防止のため前期の市民講座がすべて中止になってしまいました。

市民講座を楽しみにしていた方もたくさんいらつしやって、残念がる声も寄せられました。対面しての講座は無理でも、せめてテレビを通して学んでいたきたいと考え、テレビを通した市民講座を開設しました。

東野コミセンでは、簡単な手品を学べる「恵那マジッククラブ」の講座を公開することになりました。収録には、恵那マジッククラブの湯野辰雄さんに来館いただき、マジックを披露していただきました。

最初に初心者のために、「コップが消える」マジック等とその種明かしを教えていただきました。そのあとはリングマジックを披露していただきました。バラバラの鉄のリングがつながったり、再びバラバラになったりするマジックです。タネは何か考えているうちに終わってしまいました。

最後に、初心者代表として、南大門の長谷川和利さんが、湯野さんからロープマジックを習い披露しました。初めて習うマジックに悪戦苦闘しました。

この時収録されたものは6月29日と7月5日に放映されました。

今回はマジックのみの収録でしたが、市内の各コミセンではいろいろな講座を収録しました。普段学ぶことのできない講座が見られ、是非学んでみたいとなりました。



### 小学校の話題あれこれ

#### 小学校でも芋の苗植え

登校日の5月28日(木)、2年生が芋の苗植えを行いました。地域の講師として丸山文憲さんをお招きし、サツマ芋の苗の植え方を指導していただきました。今年は安納芋、シルクスイート、紅はるかを育てます。芋の植え方は、直立植え、斜め植え等4つの方法がありますが、大きい芋や小ぶりの芋などいろいろな大きさの芋が育つように斜め植えを習い、早速植えてみました。最初はおっかなびっくりで植えていましたが、慣れるにつれ手早く植えられるようになりました。秋にはおいしい芋が食べられます。



#### 授業再開



5月の登校日中、新入学の1年生が学級そろってブランコ遊びの真っ最中。休校中、外にも出られなかった子どもたちも、晴天の空の下、全身を使ってブランコをこいでいました。2か月間の自粛生活だったので、みんなと一緒の1年生で遊ぶことに嬉々としていた1年生でした。

#### 大豆の種まき

3年生全員で大豆の種まきをしました。塩ビパイプでマールチにあけた穴に、大豆を2粒ずつまきました。

豆腐作りの経験は、国語の授業「すがたをかえる大豆」で役立つことでしょう。



大豆の種まき完了!

## 地域の話

今年も小さなお客様が来館

6月23日(火)

下浜井場の伊藤淑子さんを講師に、こども園のみの勉強をしました。

事務室で代表の子どもが「お茶の勉強にきました。よろしく願います。」と挨拶。今年は、新型コロナウイルスの感染を避けるため、前半6名、後半6名のグループに分かれ来館しました。

体操座りをして、静かに伊藤先生のお話を聞くことが出来ました。立ち方や畳の縁を踏まない事、掛け軸を愛する等の一連の所作を覚えました。



きちんと正座し、扇子を前に置き、伊藤先生にご挨拶する姿は小さな茶人の風情がありました。入室してから退室するまで静かに行動していた姿が印象的でした。

日本の伝統的な文化に接し、少し成長し、こども園に帰りました。



## 寄稿 森の名画

根の上高原マレットゴルフ場のクラブハウスに楽しい絵が掲げられました。描いたのは、会員の渡辺英子さん。コロナ年になってしまった今年、愛好家の休憩の合間にほっと和む絵にしたいと「仲間たち」としました。他にも可愛い「ペンギン」も置かれています。この絵にはこんな「詩」

がつけれられています。



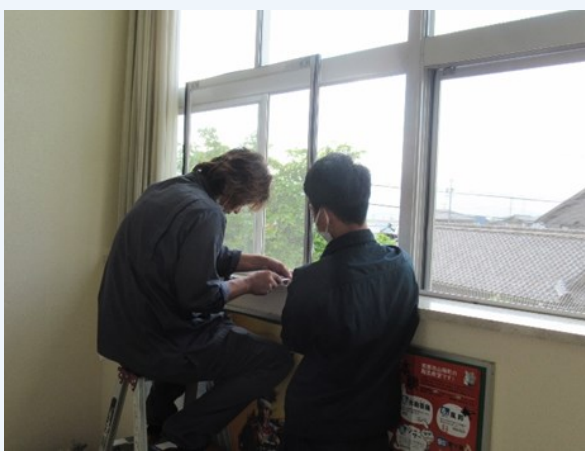
仲間たち

街外れに住む一人の少女が週末になると近くの森へおみやげを持って友達に逢いに来ます。少女の足音が聞こえると、ビビ！クククホーホーとどこからともなくかけよって来ます。こんにちは！とてもにぎやか 白鳩さんがお礼に四つ葉のクローバーを少女にプレゼント いつもありがとう また来てね！



## コミセンの全部屋に網戸を設置

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、エアコンが稼働している夏場でも、定期的に換気が必要です。しかし、夜間の会議中に窓を開けると、虫が集り、困っていました。そこで換気出来るよう、全部屋に網戸を入れました。



## 中止させていただきます

### 青少年育成会議主催 夏休みの社会見学 市民三学東野委員会研修旅行

東野の恒例行事となった社会見学と研修旅行ですが、今年は特別な年になってしまい、止む無く中止とさせていただきます。

社会見学や研修旅行は、学びのある旅を企画していただに残念です。

来年は実施したいと考えています。時期が来ましたらお知らせします。ぜひお申込みください。

## 文芸

花無山句会 令和2年6月20日

東野コミュニティセンター

山海の幸のせ届く朴葉鮓  
かな文字の蓮月尼の書や青葉風

市川 芳子

風切つて自転車の子麦の秋  
白壁に張り付く蕨の青々し

内木 伊津子

芍薬の丸き蕾のかたさかな  
草木満つ雨に枝垂れて夏立ちぬ

千藤 猛司

晩学のスマホ教室梅雨晴れ間  
コロナ禍をひとまず耐えて更衣

千藤 恵三



### 風水害の場合の避難行動 常に同じ避難場所を目指すことが最善ではない！！

「災害が起きたらとにかく避難所へ」というのが常識のように思われていますが、常に同じ避難所を目指すことが最善でしょうか？

台風のように、比較的早い時点から豪雨が予想されるような場合には、早めに安全な避難場所に移動することが最善です。しかし、7月4日の球磨川の氾濫（熊本県）や昨年の千曲川の堤防決壊（長野市）により浸水が始まってしまったような場合は、無理に避難所を目指すとかえって危険を招くことにもなりかねません。浸水したら、なるべく新しい建物の2階以上に留まることも避難行動のひとつと言えます。（垂直避難）しかし、河川のすぐ側などでは、家屋が流されてしまうこともあるので、早めに川から離れた場所に避難することが重要です。



### イツモ防災の大切さ

防災というといつ構えてしまいがちですが、いつも行っていることが防災につながるという考え方があります。防災の書籍ではこれを『イツモ防災』と名付けていました。『もしも』のときのために、何か特別なことをするのはではなく、日頃からご近所同士と「イツモ」あいさつを交わすことも防災につながります。阪神・淡路大震災が発生したときに、「イツモ」あいさつを交わす人を見当たらないことに気付いてくれ、倒壊した建物の下敷きになっていたところを助けてもらえた、という実体験を読んだことがあります。防災活動として、何か特別なことをしていたわけではありません。「イツモ」あいさつをしていることが、結果的に命を救うことになったのです。「イツモ防災」の精神はここににあります。



防災訓練が、当番だからと義務的に参加しては、意味がありません。防災訓練が日常生活から離れた特別な行事になっていることが問題です。「イツモ」のことではないから、義務的に参加するという意識をもつ方もいます。

### イツモ防災を進めるために

防災、防災と声高に言うのではなく、避難道路に沿って散歩をするような「イツモ」の生活の延長線上に防災の視点をもつことが大切です。もちろん、地域の防災訓練が不要というわけではありません。防災は命に関わるものですから、何でもやることはやっておくべきです。

### 防災グッズ 本当に役立つ情報が重要 一被災体験の方の話から学ぼうー

「防災グッズ」に関して、被災者が実際の体験から得た情報には具体的で説得力があります。例えば、災害時の明かりとして「懐中電灯を準備しましょう」と言われます。しかし、災害時にまず必要なのは「ヘッドライト」だと被災者の多くが語っています。理由は明確で、両手が空くからです。被災地では昼夜を問わず、けが人の救助活動や救援物資の運搬などを行います。被災直後に、電気がストップして真っ暗になってしまった街の中での、こうした作業には「ヘッドライト」が必要不可欠です。



一般的には防災グッズの代表的なアイテムと言われるのが「軍手」です。しかし実際には「革製や人工皮革のケブラーの手袋」の方が適しているそうです。

被災地での救援活動やがれきの処理で鋭利なくぎやガラスなどが軍手を突き破り、手にけがをしてしまうおそれがあるからです。水道が止まってしまう可能性が高い被災地で、けがをすると傷口の十分な洗浄ができず、とても危険です。けがを未然に防ぐために、より丈夫な手袋が求められるのです。このように被災者の体験をもとに、本当に災害時に役に立つ「防災グッズ」をそろえ備蓄することが重要です。





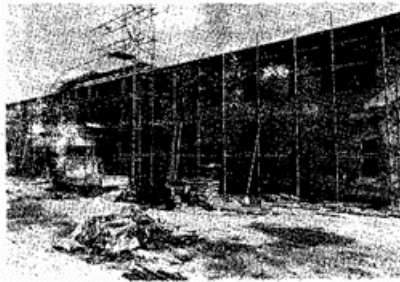
発 行  
昭和54年10月1日  
第15号

発行者  
東 野 公 民 館  
電 話 6 - 2555

## 建設のすすむ国民宿舎

恵那山高原国民休養地の事業主体となる国民宿舎につきましては本年六月若工十二月末完成の予定で現在工事がすすめられており、総事業費約二億四千六百万円で営業開始は来

年四月の予定です。  
名称につきましては県知事さんの裁定で、「恵那山荘」とは決定し、今後「財団法人恵那山荘」として発足すべく財団法人設立の手続きを現在市商工観光課ですすめていただいております。



(建設のすすむ国民宿舎)

また財団法人の理事長には県議光岡先生に就任していただくことに快諾を得ており、副理事長には振興会長さん、市議会議員さんの就任が予定されており、今後このスタッフで

昭和54年と昭和55年の(40年前)の東野公民館報です。見覚えのある方もいらっしゃると思います。この2枚の館報から、恵那山荘が今年、創立40年ということや、わずか1年で完成し、4月1日にオープンされたことが分かります。昔、根の上高原に家族で行ったり、保古の湖でスケートをしたりした記憶のある方も多いのではないのでしょうか。

ユースホステルや恵那山荘で宿泊研修をしたり、会食や宴会をした方もいらっしゃると思います。

恵那山荘のオープン40周年を記念し、今回、取り上げてみました。

財団法人の運営に当たっていただくこととなります。  
国民宿舎は家族の利用を中心としており、研修・会食等今後市広く利用されることが期待されております。

(1) 昭和55年5月1日

東 野 公 民 館 報



(国民宿舎恵那山荘竣工式式典)

国民宿舎「恵那山荘」  
本館竣工オープン！  
恵那山高原国民休養地の中核施設である国民宿舎恵那山荘が完成し、三月二十九日に竣工式が行なわれ、四月一日からオープンしました。竣工式には上松知事・今井県議会議長などが出席され盛大に行なわれました。  
施設は鉄筋コンクリート二階建て、延べ千平方メートルで五十人が宿泊でき、総工費は二億四千八百万円で五十五年度中には、更に会議・研修・合宿など多目的に利用できる別館が建設される予定です。  
県道も順次整備され、交通事情もよくなってきましたので、郷土の観光地として皆さんにご利用いただくようお願いいたします。

国民宿舎 利用料金 (単位 円)

利用区分	宿(泊)料	食料(1人1食)			合計	暖房料
		朝食	夕食	計		
大人	1,900	500	1,000	1,500	3,400	150
小学生	1,400	500	1,000	1,500	2,900	150
幼児		実 費				

- 1泊は午後4時から翌日の午前10時まで。
- 特別室は上記利用率の5割増。
- 休憩料金 大人100円 小学生70円



(国民宿舎全景)



発 行  
昭和55年5月1日  
第16号

発行者  
東 野 公 民 館  
電 話 6 - 2555



村役場を通じて家庭に配布された文書

まるで新型コロナウイルスのこのような・・・

## 「悪性感冒(ウツリガイキ)」

1. 児童の身体に少しでも怪しいと思われる様子(頭痛・発熱)が見えたら、早く医者に見てもらふこと
2. 誰でも此の感冒にかかれば、別の室に寝させ、鼻汁や痰(たん)を能(よ)く消毒すること
3. 病人の咳(せ)く時は、唾が他人にかからぬ様にすること (感冒・・・かぜのこと)

これは、旧大八賀村（現在の高山市）で各家庭に配布された注意書きです。旧丹生川村の村史によると、1918年10月～12月に大野郡で514人、吉城郡で217人が死亡。村内では35人が亡くなりました。



1918年11月～12月の流行で、小学校本校と7分教場を7～20日間閉鎖したと記録。全児童の9割に当たる871人が罹患(りかん)し、9人が亡くなっています。

この文書には、「悪性感冒(ウツリガイキ)」と病名に方言の注釈を付け注意を喚起しています。新型コロナウイルス対策と同じように隔離や飛沫(ひまつ)感染防止の措置が取られていたことが読み取れます。

スペイン風邪は、再流行を繰り返し、終息まで2年半かかりました。スペイン風邪で、国内で約39万人が犠牲になったとされ、岐阜県内でも再流行を繰り返し、終息までに8,000人以上が亡くなりました。

スペイン風邪は、いったん落ち着いたものの、「向寒の候に及びて神奈川、三重、岐阜、佐賀、熊本、愛媛等に流行再燃の報あり」(内務省報告)として、1919年10月下旬から1920年6月の第2波で1409人、1921年1月から6月の第3波で78人がそれぞれ県内で死亡。終息までに2年半かかりました。

内務省報告書の古書を手し、書籍として出版した国立病院機構仙台医療センターの西村秀一ウイルスセンター長は「未知のウイルスへの対処は今も昔も変わらない。スペインインフルエンザは集団免疫が形成され終息

したが、今回のコロナでは国民はまだほとんど免疫をもっておらず、一時収まっても流行はまた勃発する」と警鐘を鳴らしているらしいです。その上で、「マスク着用は効いていると思っており、次にやってくる流行でも今回学んだ対処をきちんとやれば、光は見えてくる。ウイルスを正しく恐れ、助け合って長期戦を戦うことだ」と指摘されています。

首相は国会で、小中高校などの一斉休校要請について、1918年から流行した「スペイン風邪」をめぐる米国の対応を参考にしたと答えています。

過去の歴史を知り、過去に学ぶことが未来を考える一助になるということです。こんな非常事態の今だからこそ、学ぶ意味や大切さが分かってきます。



スペイン風邪による休校を報じた当時の新聞

# コミュニティセンターの新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の対策のため、コミセンのご利用団体にご不便をおかけしています。現在は、各部屋の定員の半分以上でご利用いただくようお願いをしています。また、使用報告書に加え、利用チェックシート、イベント等、参加者記入シートを提出していただいています。

狭い部屋やロビーは飛沫防止



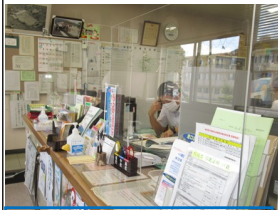
メジャーで間隔を測っています

のビニールを張っています。



団体によつては、ソーシャル・ディスタンスを保つため、メジャーで間隔を測り、目印を貼り付け、活動しています。

私たちが経験したことのないコロナ禍（か）にある今、コロナとともに生きていくため、新しい生活様式を身に着けることが重要ですね。



アクリルボードで仕切られた事務室

## 手作りマスク10,000枚大作戦

恵那市の呼びかけに、多くの方が賛同いただき、たくさん手作り布マスクが届きました。東野コミセンにもたくさんのマスクが届きました。温かいお心遣いに感謝いたします。

この心のこもったマスクは、市内の高齢者施設、障がい者施設等に順次、配らせていただきました。新型コロナウイルス感染症予防の一助となります。

多くの皆様から予想を上回る手作りマスクが届き3週間で10,000枚を達成しました。引き続き、20,000枚を目標として募集をしています。

大作戦は20,000枚に達するまで募集しています。



手を洗うモン  
#WashHands



くっつかないモン  
#KeepDistance



換気をするモン  
#OpenWindow

©2010 熊本県くまモン

## 編集後記

▼桜を詠んだ俳句として、芭蕉の「さまぎまのこと 思ひ出す 桜かな」が思い浮かびます。しかし、今年は桜の季節を実感しないままに夏になってしまいました。▼新型コロナウイルスに関係なく飯沼川や定蓮寺川を自由に飛び回るほたるたち。それでも20回を数えるほたる祭りは中止に追い込まれました。▼今号では、約100年前に大流行した、スペイン風邪を特集しました。地域密着型の広報誌には似合わない内容ですが、新型コロナウイルス対策とほとんど変わらないスペイン風邪のことを知っていただければと願い、掲載いたしました。夏祭りや敬老会など主要な行事が中止となり、この先も見通せない状況です。▼思うように旅行に出かけられず、外出も自粛する毎日ですが、庭の隅や畑を注視すると、ニワゼキショウやムラサキカタバミ等の雑草に目が向くようになりました。これらの花のかわいらしさや美しさに気付くと少し得をした気分になります。



ムラサキカタバミ

▼昔、昭和天皇が名もなき花という言葉を書き、「雑草という草はない。どんな草にも必ず名前がある」と仰ったそうですが、雑草とひとくくりせず、その草を観察したり名前を調べたりすることを通して、植物のことを学びたいと思いました。

(杉)

## 発行

東野コミュニティセンター ☎二六―二五五五  
東野地域自治区運営協議会 ☎二六―二二四四